



ジョイフル

VOL.52
2022.12.9 発行



名古屋営業所 乗務員 馬原 一将

名古屋営業所で乗務員を務めている馬原一将さんは、2018年に南星キャリアックス株式会社中途社員として入社しました。トラックの運転にかねてより憧れを抱いていて、未経験ながら入社後にスキルを磨き、現在まで活躍を続けています。そんな馬原さんは、どのように仕事に取り組んでいるのでしょうか。心がけていることや仕事のやりがい、今後の目標などを聞きました。

——前職ではどのような経験をされていますか。また、南星キャリアックスに入社したきっかけを教えてください。

前職では、自動車部品の会社で営業を担当していました。南星キャリアックスはもともと知り合いが働いていて、紹介されたのが入社のきっかけです。実はほかに内定をいただいた会社があったのですが、知り合いからの評判を聞いて

南星キャリアックスで働くことにしたのです。もともとトラックに興味があり、運転手に憧れていたのも決め手となりました。紹介してくれた知り合いというのが、今も一緒に働いている奥村光正さんです。

——これまでで印象に残っている出来事についてお聞かせください。

2020年頃、ミスを立て続けに起こしてしまったことはまだに忘れられません。当時は知立出張所の応援に行っていたのですが、倉庫内でリフトを操縦していたときに製品に接触し、破損してしまつたのです。普段ならバック走行するところを、急いでいたため前進してしまつて……。ちょうどリフトの操縦に慣れてきたタイミングで、今思えば調子に乗っていたのだと思います。

もう1つ、トラックに乗っていると、コンビニエンスストアの駐車場で隣のトラックに接触して、相手側の幌を破ってしまつたことがあります。幸い怪我人は出なかつたのですが、このときも、自分の運転技術を過信してしまつたね。会社にも迷惑をかけて大変反省し、それ以降は気を引き締めて業務にあたっています。

——仕事をしながらで心がけていることはありますか。

コミュニケーションを大事にしています。特に、挨拶はしっかりするように。これは、前職時代からのモットーです。今の職場には



夜間勤務の方もいるので、出社時間かばらばら。そのため、自分が出社したときだけでなく、色々な勤務体系の方に合わせて「おはようございます」の挨拶をしっかりとするようにしています。

あとは、任された業務を最後までできつちりやり遂げること。これまで、色々な現場を経験してきました。職場が変わると最初は大変なのですが、自分で引き受けた仕事は途中で投げ出しません。これからも、この姿勢を貫いていきたいと思っています。

——仕事を続けられている理由や、やりがいを教えてください。

入社して1年目くらいのおきに、仕事がなかなか上手くいかずに悩み、休職していた時期があったのです。そのとき、当時上司だった課長の梅澤さんが電話をかけてきて、「また一から仕事を教えるから、戻ってこんか」と励ましてく

ださつて。その声を聞いたら吹っ切れたというか、また職場に出る勇気が出て、現在まで続けてもらえました。今でも時折、「あのとき退職しないで本当に良かった」と思い出します。引き止めてもらつたおかげですね。

——今後の目標をお聞かせください。

私は宮崎県の出身なのですが、18歳で名古屋市に拠点を移して2022年でちょうど18年が経過しました。人生の半分を過ごした名古屋市で、これからも頑張っていきたいと考えています。

将来的な目標は、大型自動車の運転免許を取得すること。もし取

得できたら、今乗っているトラックよりも大きな車両を運転できるようになります。現在の私ではまだ運転技術が足りませんので、これからもっと経験を積んでから挑戦するつもりです。

退職を考えるほど悩んでいた新人の頃、上司のあたたかい言葉に救われたと振り返る馬原さん。それからは失敗しても挫けることなく、前向きに業務に取り組んできました。難易度の高い免許取得に向けて、これからも一歩一歩、着実に歩みを進めていきます。

